



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北大総合博物館展示「大学の知をすべての人々に！」：サステナビリティ・ウィーク2008アーカイブ
Author(s)	小俣, 友輝; 湯浅, 万紀子
Relation	博物館展示／大学の知をすべての人々に！. 平成20年6月15日～平成20年7月31日. 札幌市
Issue Date	2008-08-15
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/34602
Type	other
File Information	43-2.pdf



北大総合博物館展示 「大学の知をすべての人々に！」

Knowledge of University for All the People!

北大総合博物館 博物館教育／メディア研究系 小俣友輝・湯浅万紀子

サステナビリティ・ウィーク2008アーカイブ（作成：2008年8月15日）



企画について

About the Exhibition

企画概要

この企画は、サミット期間中北海道大学を訪れる世界中の人々が国籍を問わず博物館の展示を楽しめるよう、展示パネルの英語化、およびリーフレットの英語化を行う。また、当企画の進行状況を写真や映像でアーカイブ化を行い、その様子を期間中博物館内に展示する予定である。

Summary

A variety of research results and materials collected by researchers at Hokkaido University during its 130-year history will be exhibited for the excitement of intelligent of people from around the world.

企画の特色・意義

北海道大学と地域社会をつなぐ「大学の窓」として一般開放されている北大総合博物館は、理学、農学、工学、水産学、医学、獣医学などのトラディショナルな研究分野に加え、地球環境科学や古生物学、北方の大学であることを活かした低温科学、北方の人類学など、人類や地球のこれまでと今後に関する、多岐にわたる研究成果の展示を誰もが見ることができる施設となっている。この度サミットが北海道で行われるにあたり、北海道唯一の総合大学の窓となるべき総合博物館において各展示の英語表記を充実させることにより、優れた研究成果が環境や人類に与えるインパクト、あるいは北海道大学自身の魅力を広く世界に対してアピールできる。

Programme

Knowledge of University for All the People! is not a one day event but a programme which is held in the Hokkaido University Museum in the long term with the aim of spreading accumulated knowledge of University beyond a barrier of language.

The Hokkaido University Museum has collection of over 4 million and history of 130 years, and the exhibition of the Museum covers natural science such as plant systematics, archaeology, phycology, mineralogy, systematic entomology, paleontology and the history of the Hokkaido University begging from the Sapporo Agricultural collage, established in 1876.

The English digest of all exhibition is displayed at each corner in the Museum, and all the visitors can take the English leaflet freely. We hope the new style of exhibition will provide a chance of a lot kind of intercosses.

企画を終えて

北大総合博物館で行われた「大学の知をすべての人々に！（Knowledge of University for all the Peole!）」は、大学の知の集積地とも言える博物館において、各部屋の展示内容説明パネルおよびリーフレットを英語に拡張させることにより、北大の研究を広く世界に発信する試みであった。総合博物館は国内・国外問わず様々な人が気軽に入ることができる施設であることから、洞爺湖サミット期間中も多様な人々が多数訪れていた。世界共通語とされている英語における説明が各展示室前に掲示されることにより、海外からの来客を案内する際にもよい手助けになった。また、総合博物館リーフレット英語版の配布により、紙媒体を通して、北大のサステナビリティ研究が世界へ発信されることとなった。総合博物館では、各展示室前の英文説明パネル掲示、英文リーフレット配布を引き続き行い、北大研究の展示を通した世界への発信を行ってゆく。

展示アーカイブ

Archives of the Exhibition

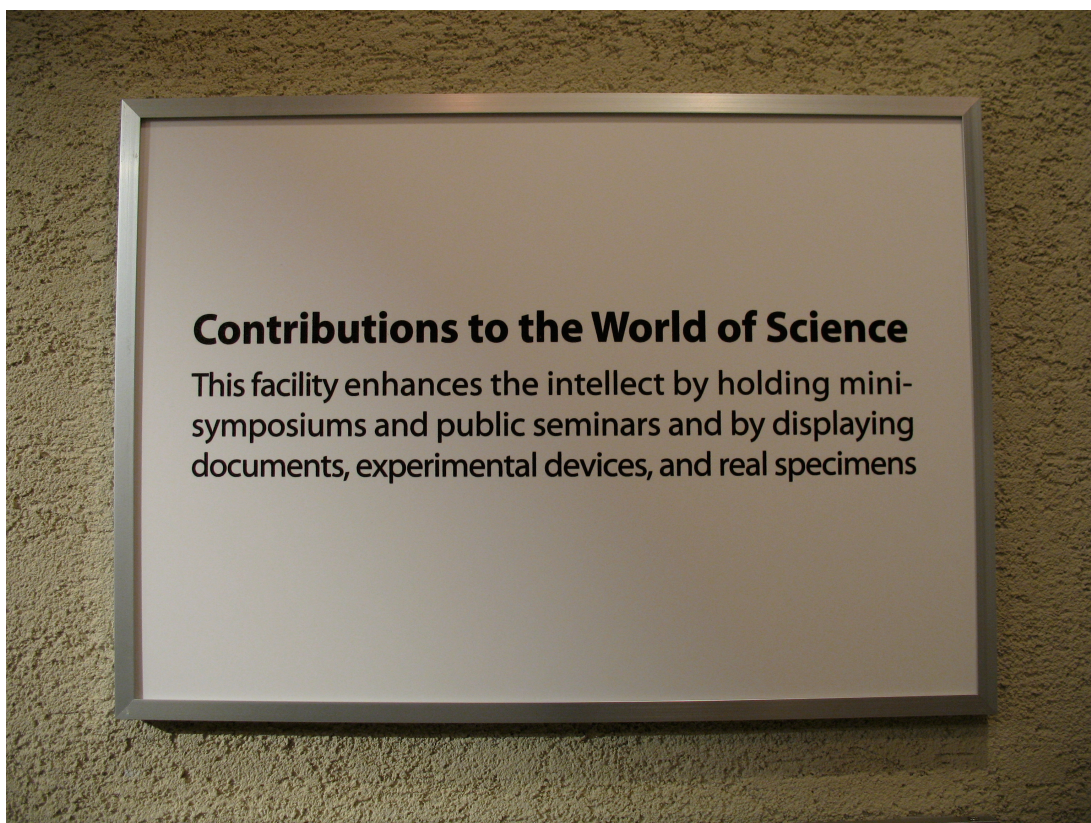
<1階展示室>



1階エントランス、博物館入り口から外側を臨む（白枠に黒地、白文字の英文パネル）



1階北大歴史展示の英文パネル

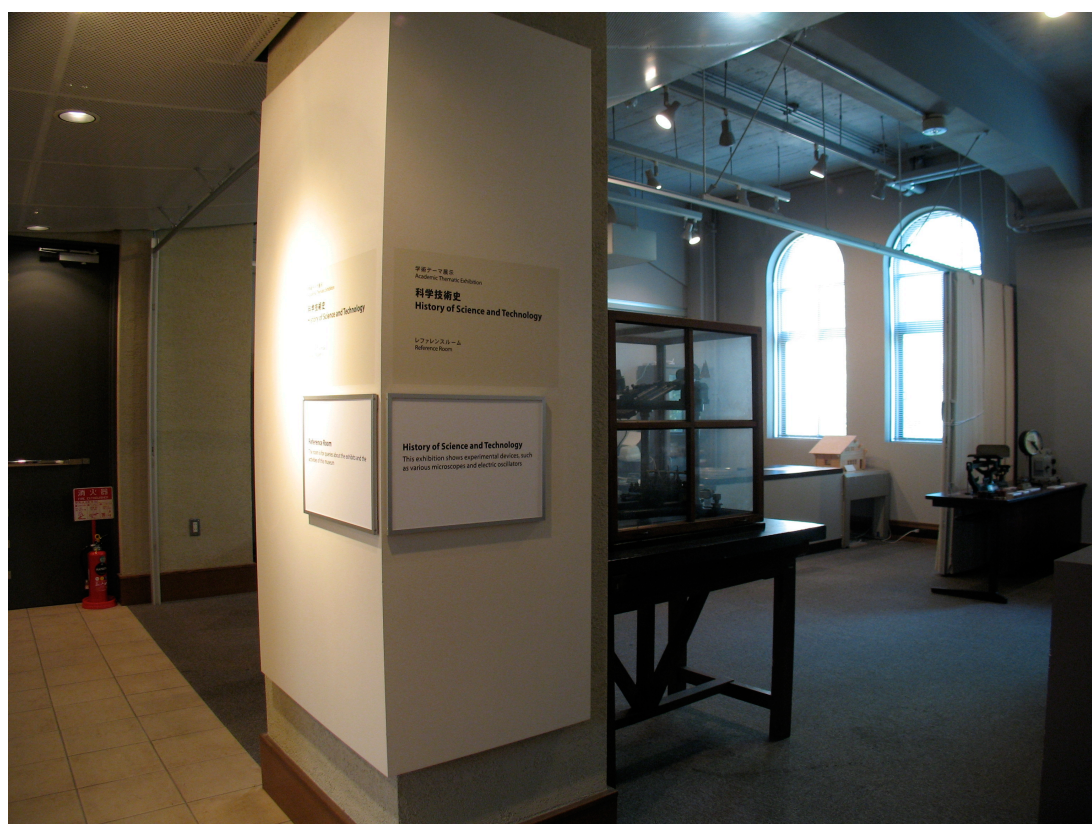


1階・知の交流コーナーの英文パネル（下はパネルの一枚を拡大したもの）



1階・学術テーマ展示の英文パネル（下は「循環から見る自然と人」を拡大したもの）

＜2階展示室＞



2階展示室の英文パネルを動線から臨む

<3階展示室>



3階展示室の英文パネル（各部屋の入り口に掲示、下は「獣医学骨格標本」を拡大したもの）